

# 市議会定例会[9月]

## 提出議案の概要について



本物力こそ桑名力

# 令和2年9月定例会の主な議案

## 補正予算の規模

一般会計補正予算（第9号）	補正額	<u>16億9,823.7万円</u>
地方独立行政法人桑名市総合医療センター 施設整備等貸付事業特別会計補正予算（第1号）	補正額	<u>8億5,270万円</u>
企業会計補正予算（第2号）	補正額	<u>286.8万円</u>

## 補正予算の概要

◎第6弾！！ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に係る感染拡大防止対策や経済対策・生活支援、「新たな日常」に対応するDX（デジタルトランスフォーメーション）等の推進 ⇒ 別紙

### ◎その他

- ・津波避難施設について、確実に事業を推進し、早期完成を図るために設計・施工一括方式に変更することに伴う事業費を増額する。【3億2,997.5万円】
- ・市が管理する緑地の土砂崩落箇所について、多度力尾土地区画整理事業組合と協定を締結し、自然災害防止対策を講じる。【2億9,755万円】
- ・「ふるさと納税」の件数増加に伴う記念品料及び事務費を増額する  
【1億2,965.1万円】 ほか

## 条例の制定及び改正など（12件）の主な議案

### 《条例の制定》

#### ◎桑名市犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等支援の基本となる事項を定めることにより、犯罪被害者等支援を総合的かつ計画的に推進し、市民が安心して暮らせる地域社会の実現に寄与するため、条例を制定する。

#### ◎桑名市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定

条例や規則で書面等によることと定められている手続き等を書面等だけでなくオンラインにより行うことができるようにするため、条例を制定する。

#### ◎桑名市企業等誘致促進条例の一部改正について

立地奨励金の受給要件から新規雇用要件を廃止し、市内への投資を促進するとともに、新たに定住促進奨励金を新設し、市内の新規雇用を創出する。      ほか

桑名市

第6弾

9月補正新型コロナウイルス感染症  
に係る対策



本物力こそ桑名力

# 第6弾桑名市**緊急**新型コロナウイルス感染症拡大防止対策・経済対策・生活支援・新たな日常に対応するDX等の推進



本物力こそ桑名力

- 1-① 市内事業者等における感染拡大防止対策等への補助 【2億500万円】
- 1-② キャッシュレス決済PayPayポイント還元事業 【1億1,467.9万円】
- 1-③ 桑名商工会議所が実施するプレミアム付商品券への補助 【6,200万円】
- 2 AI等活用推進事業 【243.7万円】
- 3 コミュニティバス等感染症対策費用等の補助 【22.5万円】
- 4 公共交通感染拡大防止対策促進 【100万円】
- 5 市民団体向けにWEB会議の体験研修を開催 【22.5万円】

# 第6弾桑名市**緊急**新型コロナウイルス感染症拡大防止対策・経済対策・生活支援・新たな日常に対応するDX等の推進



本物力こそ桑名力

- 6 子どもの見守り強化アクションプランに基づき、子ども食堂が要支援家庭等に訪問支援等を実施 【292万円】
- 7 がん検診の申込をオンライン化 【216.2万円】
- 8 救急車両に車両除染システム等の設置 【452.4万円】
- 9 感染症関係の緊急救急出場に対応するため備蓄品の購入 【218.5万円】
- 10 修学旅行キャンセル料の補助 【2273.4万円】
- 11 GIGAスクールサポーターの配置及び遠隔学習機能強化に係る備品整備 【1,247万円】

# 第6弾桑名市**緊急**新型コロナウイルス感染症拡大防止対策・経済対策・生活支援・新たな日常に対応するDX等の推進



本物力こそ桑名力

- 12 小中学校デジタル教材の導入 【1644.3万円】
- 13 特別支援教育推進事業として、学習への参加を支援する機器を導入 【94.4万円】
- 14 成人式行事開催式典の分散開催 【84.7万円】
- 15 生涯学習推進事業として、多数が参加するイベント等にサーマルカメラを設置【121万円】
- 16 桑名市総合医療センターに対し、特別減収対策として、貸付を行う 【8億5,270万円】

# 新型コロナウイルス感染症対策事業

～新しい生活様式の導入・定着・加速を目指して～



## 《withコロナにおける3つの事業継続支援》

「新しい生活様式の導入・定着・加速」により

誰一人取り残さない『持続可能な桑名のまちづくり』を推進します。

①

### 感染拡大防止対策等を支援

来客、従業員、家族等の安全安心確保



②

### 非接触型決済導入を支援

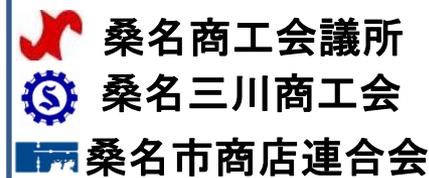
感染予防とデジタル化の推進



③

### 地域とのつながり強化を支援

市民一人ひとりによる地元事業者応援



# 新型コロナウイルス感染症対策事業

～新しい生活様式の導入・定着・加速を目指して～

## 《制度概要》

①感染拡大 防止対策等を支援	期間	計上予算額	運営方法	対象施設
市内事業者等における感染症感染拡大防止対策等への補助 (10万円/1事業者)	8月3日～11月 30日	2億500万円 (補助金2億・ 事務費500万円)	桑名市	市内に事業所等 有する事業者

### ★補助対象経費

- ① 業種や施設の種別に応じたガイドライン等の趣旨に沿った取組
  - ・アクリル板・透明ビニールカーテンの設置
  - ・マスク・消毒液等衛生用品の購入
  - ・店舗・オフィス・作業場の配置変更等に要する経費
- ② 業務改善・売上向上につながる取組
  - ・在宅勤務や出張を削減するための設備・ソフトウェア等の導入経費
  - ・宅配やテイクアウトの導入に要する経費

※ただし、国・県等の他の補助金の交付を受ける事業は対象外とする。

- ★不特定多数が来店する店舗等は、三重県が運用を開始するQRコードとLINEを活用した感染者の発生を通知するシステム導入を条件とする



**安心と安全が  
最優先**

# 新型コロナウイルス感染症対策事業

～新しい生活様式の導入・定着・加速を目指して～



本物力こそ桑名力

## 《制度概要》

②非接触型決済導入を支援	期間	計上予算額	運営方法	対象店舗
キャッシュレス決済 PayPayポイント還元 事業 (PayPay決済)	11月1日～11月 30日	1億1,467万9千円 (プレミアム1.1億円・ 事務費467.9万円) <b>最大5.5億円の効果</b>	<b>県内初</b> PayPay(株)へ の業務委託	市内の中規模・ 小規模のPayPay(株) 加盟店(※)

※ 桑名市とPayPay(株)が対象店舗として指定した店舗

③地域との つながり強化を支援	期間	計上予算額	運営方法	対象店舗
商工会議所が実施す るプレミアム付商品券 への補助 (※2)	12月1日～令和 3年3月31日	6,200万円 (プレミアム5千万円・ 事務費1,200万円) <b>最大3億円の効果</b>	市内経済 3団体への 事業補助	桑名商工会議所・ 桑名市商店联合会・ 桑名三川商工会の 会員事業所、 参加を希望するNPO等

※2 購入金額5,000円に対して、1,000円分のプレミアム



本物力こそ桑名力

# 令和元年度決算報告

# 令和元年度決算にあたって～行財政改革の成果～①



本物力こそ桑名力

## これまでの「改革」 ～納税者の視点で次の世代に責任ある財政に～

社会が大きく変化していく

普通交付税の  
段階的縮減

限られた財源

社会構造の変化

老朽化する公共施設

次世代にツケを残さない！



新たな手法・アイデア導入！

公民連携

土地開発公社の解散

行財政改革  
の決断

公共施設マネジメント

使用料等の見直し

補助金の見直し



## これまでの「改革」の成果について

桑名市総合計画に行政改革大綱を位置づけて「改革」を推進

5年間（H27～R1年度）の「改革」成果額（概算）

**約38.7億円**

**歳出削減 約6.9億円**

- ・公民連携による効果額 :約3.1億円
- ・公共施設マネジメントによる効果額（施設維持管理経費削減額） :約3.3億円
- ・補助金の見直しによる効果額:約0.5億円

**歳入確保 約31.8億円**

- ・ふるさと応援寄附金による効果額 :約16.1億円
- ・公有財産売却による効果額 :約14.0億円
- ・使用料・手数料の見直しによる効果額:約1.3億円
- ・公民連携による効果額 :約0.4億円

持続可能で成長し続けられるまちへと変革するため  
財政基盤を強化！今後も行政のあり方を含めて「改革」を進める！

# 令和元年度決算（普通会計）の主な状況 ①

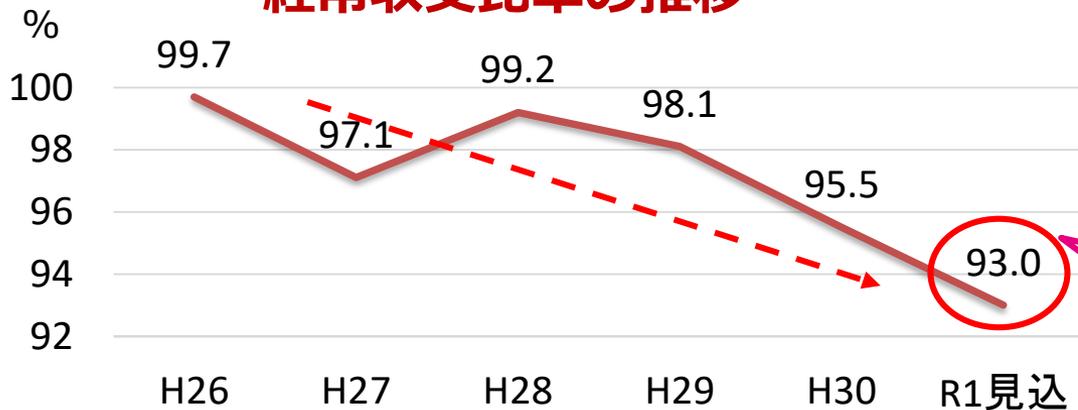


本物力こそ桑名力

## 「改革」による成果が主な財政指標にも表れている！

### 主な財政指標（速報値）

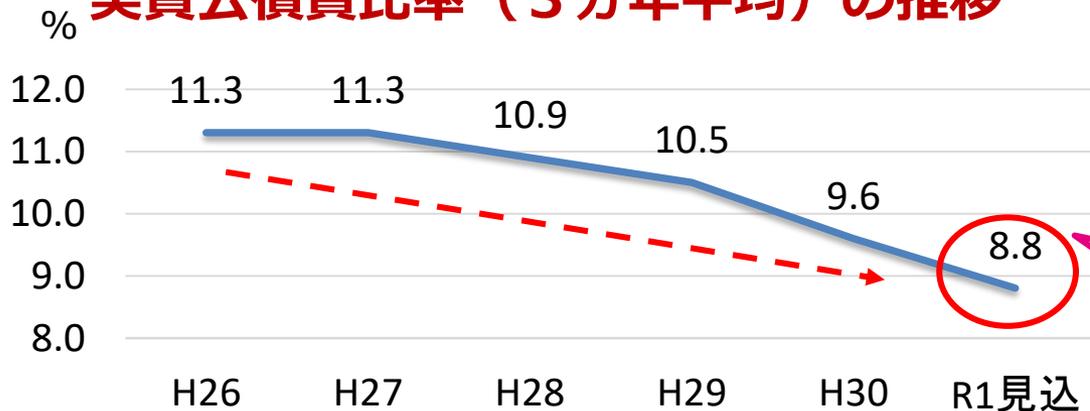
#### 経常収支比率の推移



「経常収支比率」は、市税や地方交付税など使い道が自由な一般財源に対して、必ず支出しなければならない経費の割合

前年度比2.5ポイントの改善！

#### 実質公債費比率（3カ年平均）の推移



「実質公債費比率」は、使い道が自由な一般財源に対する負債返済（公債費等）の占める割合

前年度比0.8ポイントの改善！

# 令和元年度決算（普通会計）の主な状況 ②



本物力こそ桑名力

## 収入を確保しながら、将来を見据えたまちづくりへの投資も！

### 市税の推移



市税収入は堅調に推移  
(R1:223億4,087万円余)  
※前年度比:2億9,025万円余増

### 投資的経費の推移

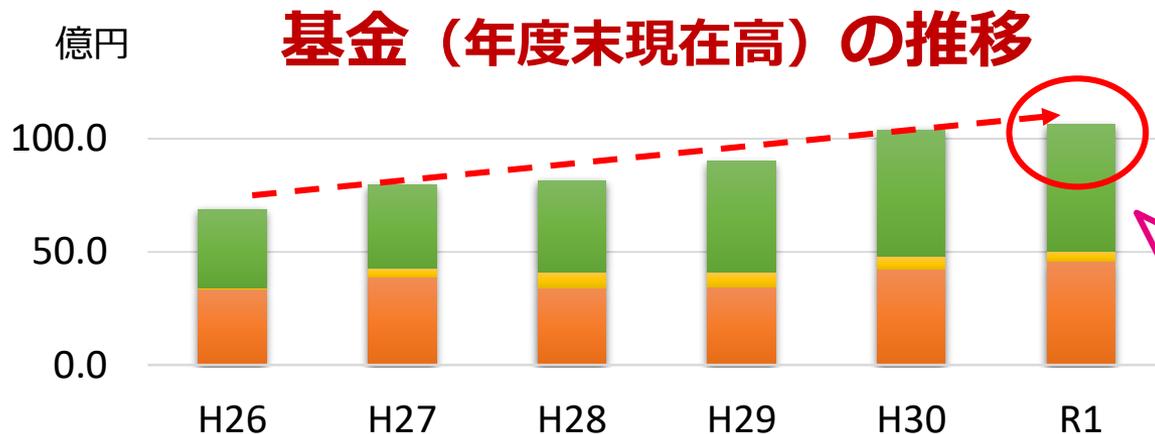


桑名駅自由通路整備や小学校等の  
エアコン整備などしっかりと投資  
(R1:64億7,159万円余)  
※前年度比:14億5,383万円余増

# 令和元年度決算（普通会計）の主な状況 ③



本物力こそ桑名力



- その他特定目的基金
- 減債基金
- 財政調整基金

貯金にあたる基金は  
しっかりと確保！  
(R1:106億1,938万円余)  
※前年度比:2億2,447万円余増



借金にあたる地方債残高は減少！  
中期財政推計では今後継続的に  
減少していく見込み  
(R1:680億4,642万円)  
※前年度比:6億5,150万円余減

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）から市民の暮らしや  
地域社会・経済を守り抜くことができる財政基盤を構築！



本物力こそ桑名力

# その他発表事項

# 「おくやみコーナー」の開設

## ご遺族にとって、手続きについての悩みごと

- ◆ご遺族が行う行政手続きは、かなり多く、市役所内でも複数の窓口をまわる。
- ◆亡くなった後、すぐに行わなければならないものもあり、ご遺族の心の負担や手続きへの不安は大きい。
- ◆手続きが初めての人や高齢のご遺族の場合、分からないと、不安を抱える人が多い。

### お悩み解消

- 窓口の**ワンストップ**化で迷わないようにします。
- 申請書作成補助**で、同じ様な内容を書かなくて済むようにします。
- 事前予約**で、お待たせしません。

# 「おくやみコーナー」の開設



本物力こそ桑名力

## ◆死亡届受付件数(令和元年度)

1,553件(その内、本庁舎での受付件数1,332件)

## ◆1日平均の想定受付件数

3.6件(本庁舎届出件数の70%)

## ◆死亡に関連して生じる手続き

16課室にわたる101種類

# 「おくやみコーナー」の開設

8月25日から開設

## 設置場所

本庁舎1階戸籍・住民登録課と保険年金室の間

## 利用予約

予約専用電話 **0594-24-1261**

(受付時間: 平日午前8時30分から午後5時)

※原則、利用を希望される日の4営業日前までに予約

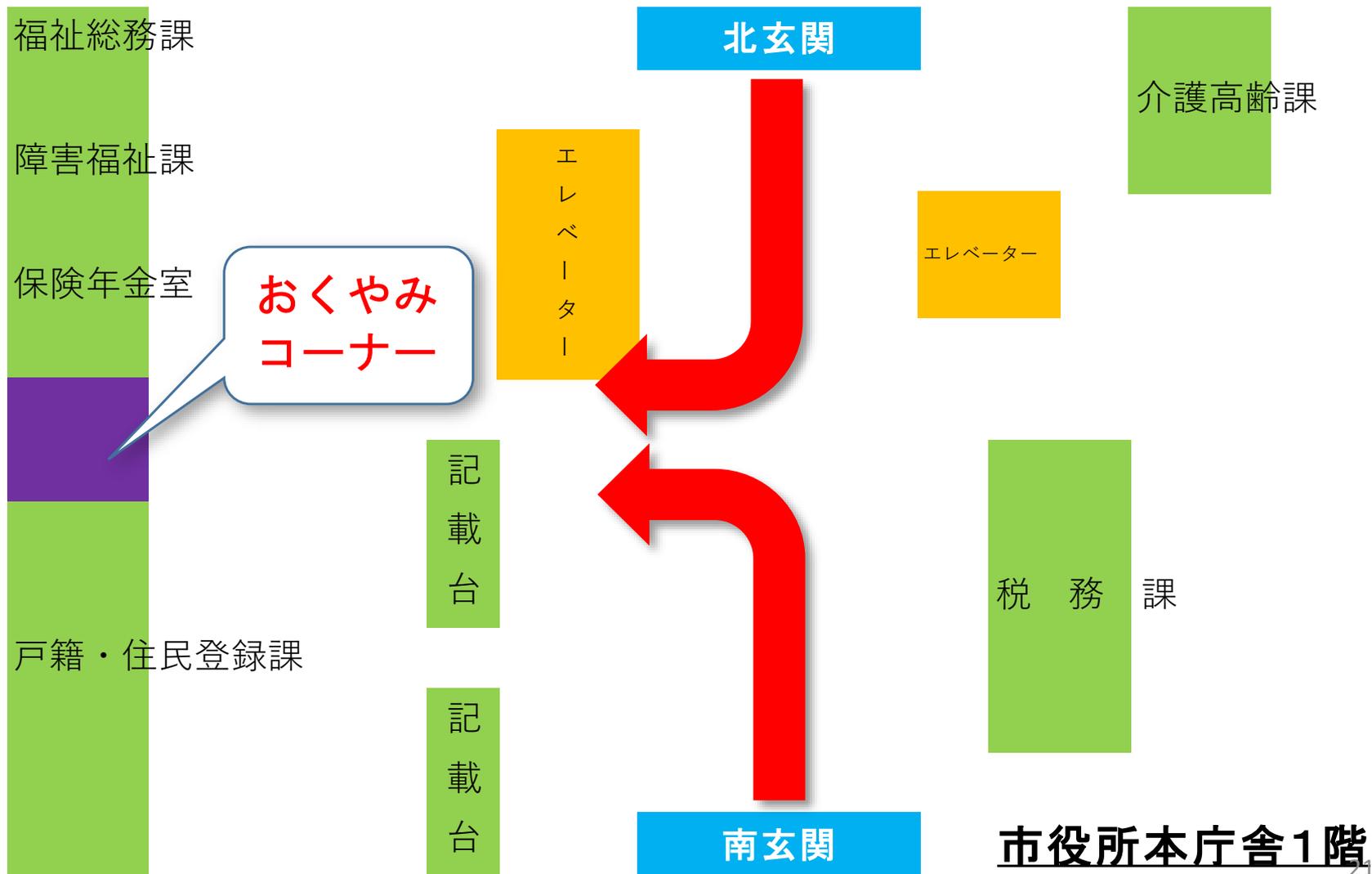
## 予約時間帯

9:30～、13:30～、15:30～

# 「おくやみコーナー」の開設



本物力こそ桑名力



## 第2回

# 自動運転バス実証実験の実施について

～団地でのバス路線維持の視点から～



## 第2回 自動運転バス実証実験について

# ～大山田団地でのバス路線 維持の視点から～

- 実施期間  
令和2年9月26日(土)  
～28日(月)  
午前10時～午後4時
- 運行便数  
30便(10便/日)
- 運行距離  
約2.5km
- 技術レベル  
レベル2
- 乗車体験者  
広報9月号、  
市ホームページで募集



# 第2回 自動運転バス実証実験について

	市のねらい	自動運転バスのねらい
課題	<p>公共交通の満足度が低い                      高齢化、運転免許返納者増                      若年層の自動車保有離れ                      生活様式の変化(移動ニーズの多様化)                      バス利用者減少による運行本数の減や廃止の可能性</p>	<p>バス運転手の減少(高齢化・なりて不足)                      バス利用者の減少(少子化・中心地への転居など)                      安全性や地域住民の受容性                      補助が必要な方への対応                      障害物への対応</p>
大山田地域	<p>人口の約25%が居住                      公共交通はバスが中心                      高齢化                      運転免許返納者等の移動手段の確保</p>	<p>バスの運行本数が多い                      バスの利用度が高い                      バス運行水準の維持</p>
ポイント	<p>既存のバス路線を活用                      交通障害物への対応                      安全性の理解の向上</p>	<p>地域のバス運転手による実証実験                      バス停での乗降シュミレーション                      坂道・団地内等での安定走行</p>
確認事項	<p>自動運転バスのニーズ把握                      自動運転バスの運行可能性の把握                      持続可能な交通手段としての可能性の確認                      新たな交通ネットワークの構築に向けた方向性の整理</p>	<p>自動運転バス導入に対する課題把握                      地域や利用者の受容性の向上                      運行事業者としての課題把握</p>

# 目指す未来～人とサービスを循環させる～



「人の移動」をシームレスにつなぎ、交通の接続性を整え、交通だけでなく他業種と連携を図る事で「サービスの移動」も組み合わせながら、市民生活のより豊かな暮らしを目指し、まち全体の活性化を創造していく。

# (参考資料)第1回(昨年度)の取組み

## ●実施期間

令和元年6月28日(金)～30日(日)

午前9時～午後5時

## ●運行便数

30便

## ●運行距離

約2km

## ●技術レベル

レベル2

## ●乗車体験者数

288名(市民、行政、交通関係者等)

## ●自動運転率

平均81%(高:91%、低:61%)

